

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : 食品添加物 L-酒石酸、日本薬局方 酒石酸(製造専用)
整理番号 : LTA-G-01
会社名 : 磐田化学工業株式会社
担当部門 : 品質保証部
住所 : 静岡県磐田市中泉3069番地
電話番号 : 0538-35-5100
Fax 番号 : 0538-35-5105
緊急時 : 品質保証部(電話番号 0537-48-0015)
推奨用途及び使用上の制限 : 食品添加物品の場合、公定書記載の指定添加物。用途としては、酸味料、水素イオン濃度調整剤(pH調整剤)、膨張剤に使用され、日本における使用基準はない。但し、JECFAにおけるADIは、0~30mg/kg体重/日とされている。日本薬局方品の場合、緩衝・矯味の目的で調剤に用いる。また、リモナーデ剤の調剤等に用いる。

2. 危険有害性の要約

- ・ GHS分類
 - ・ 物理化学的危険性 : 分類できない
 - ・ 健康に対する有害性 : 分類できない
 - ・ 環境に対する有害性 : 分類できない
 - ・ 危険有害性情報 : データなし

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別 : 単一物質
化学名 : (2R,3R)-2,3-ジヒドロキシブタン二酸
成分及び含有量 : L-酒石酸 99.5%以上(食品添加物規格の場合)
化学式(分子量) : $C_4H_6O_6$ Mol.Wt : 150.09
化学特性(構造式) : $HOOCCH(OH)CH(OH)COOH$
官報公示整理番号(化審法) : 2-1456
CAS No : 87-69-4
EINECS No : 201-766-0
分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 非該当

4. 応急処置

吸入した場合 : ただちに新鮮な空気のある場所に移し、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : ただちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、接触部を多量の水、または石鹼水で十分に洗浄し、医師の診断を受ける。

- 目に入った場合 : ただちに多量の水で15分以上洗眼(できればコンタクトを外して)し、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : ただちに冷水で口をすすぎ、医師の診断を受ける。
-

5 . 火災時の処置

- 消火剤 : 水(噴霧)、粉末(ドライケミカル)、炭酸ガス、乾燥砂、耐アルコール泡(アルコフォーム)を用いる。小規模火災には粉末(ドライケミカル)、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。大規模火災には耐アルコール泡(アルコフォーム)及び水噴霧を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 火災の種類に応じて適切な消火剤を用いること。
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生する恐れがある。
- 特有の消火方法 : 可能な場合は、速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は、周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消防活動をする時は、呼吸用保護具と全身保護衣服を用いる。
-

6 . 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 直ちにすべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
- 保護具及び緊急時処置 : 関係者以外の立入りを禁止する。取扱作業の際には保護手袋、保護眼鏡、有害粒子用フィルターマスクを着用する。低地から離れ、風上に留まる。
- 環境に対する注意事項 : 公共用水域に流さないよう留意し、環境への影響を起こさないように注意すること。
- 回収、中和 : こぼれた製品を容器に掃き入れ回収する。残留分は、石灰、ソーダ灰の水溶液をまいて中和し、大量の水を用いて洗い流す。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 排水溝、下水溝、閉鎖場所への流入を防ぐ。
- 二次災害の防止策 : 全ての発火源を速やかに取り除く。
-

7 . 取扱い及び保管上の注意

取 扱 い

- 技術的対策 : 「8. 暴露防止及び保護処置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気 : 「8. 暴露防止及び保護処置」に記載の局所排気・全体換気を行う。
- 安全取扱注意事項 : 取扱い後は、手洗い、洗眼を十分に行う。作業衣服に付着した場合は着替える。
- 接触回避 : 「10. 安全性及び反応性」を参照。

保 管

- 技術的対策 : 取扱いに必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
- 混触危険物質 : 「10. 安全性及び反応性」を参照。
- 保管条件 : 高温や湿気のある場所及び開封のままの保管は避ける。
- 容器包装材料 : 貯蔵タンク、設備等は、耐酸性の材質を用いる。

8 . 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 : 日本産業衛生学会 (2016年) 設定されていない。
ACGIH-TWA (2016年) 設定されていない。
ACGIH-STEL (2016年) 設定されていない。
設備対策 : 局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する

保護具

呼吸器の保護具 : 有害粒子用フィルターマスクの着用が望ましい。
手の保護具 : 保護手袋の着用が望ましい。
目の保護具 : 安全ゴーグルの着用が望ましい。
皮膚及び身体 : 長袖シャツ、長ズボン、長靴、ゴム製前掛けの着用が望ましい。
の保護具
衛生対策 : 取扱い後は、よく手を洗うこと。

9 . 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : 結晶又は微細な結晶性粉末
色 : 白色
臭い : 無臭
沸点 : データなし
融点 : 168 ~ 170
引火点 : 210
発火点 : データなし
燃焼又は爆発範囲
上限 : データなし
下限 : データなし
蒸気圧 : データなし
蒸気密度 : データなし
比重 : 1.76 (20)
溶解性 : 1g / 0.75ml (25)
分配係数 (log Pow) : データなし

10 . 安定性及び反応性

安定性 : 自然発火することはない。
危険有害反応可能性 : 酸化剤、塩基と反応する。
避けるべき条件 : 湿気、加熱、静電放電
混触危険物質 : 強塩基、酸化剤、還元剤、金属等
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素

1 1 . 有害性情報

急性毒性 : 経口投与 マウスLD₅₀ 4360mg/kg イヌLD_{L0} 5000mg/kg
静脈内投与 マウスLD₅₀ 485mg/kg

皮膚腐食性・刺激性 : 発赤

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 発赤、痛み

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : EU-RAR, IARC, NTP では発癌物質（因子）とは考えられていない。

生殖毒性・催奇形性 : データなし

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） : データなし

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） : データなし

吸引性呼吸器有害性 : データなし

1 2 . 環境影響情報

生態毒性 : データなし

残留性・分解性 : DL-酒石酸の場合、分解度76%（BOD）
L-酒石酸としてのデータはないが、生分解性は良いと推測

生体蓄積性 : データなし

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層有害性 : データなし

1 3 . 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装 : 容器はリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4 . 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : 非該当

国連番号 : 非該当

陸上規制情報 : 規制なし

海上規制情報 : 規制なし

海洋汚染物質 : 非該当

航空規制情報 : 規制なし

国内規制

陸上規制情報	: 規制なし
海上規制情報	: 規制なし
航空規制情報	: 規制なし
特別の安全対策	: 容易に破損しない容器に入れ、密閉して輸送する。運搬に際しては容器からの漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 . 適用法令

食品衛生法	:(食品添加物品のみ適用)	火薬類取締法	: 該当しない
薬事法	:(局方品のみ適用)	労働安全衛生法	: 該当しない
消防法	: 該当しない	PRTR法	: 該当しない

16 . その他の情報

引用文献等

- (1) 第8版 食品添加物公定書 日本食品添加物協会 (2007)
- (2) NITE「化学物質総合情報提供システム」
- (3) 安全衛生情報センターデータベース 中央労働災害防止協会
- (4) 国際化学物質安全性カード (ICSC)
- (5) 15308の化学商品 (2008年版) 化学工業日報社

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいている為、必ずしも十分ではありません。また、今後新しい知見の発表や従来の説の訂正により記載内容に変更が生じることも予想されます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験などによって確かめられることをお薦め致します。

尚、記載のデータや評価等に関してはいかなる保証をなすものではありません。また注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な手扱いをされる場合には、ご使用者各位の責任において、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。
